

An aerial photograph of a traditional Japanese village, likely Gassho Sengen, covered in a thick layer of snow. The houses feature steeply pitched, thatched roofs, characteristic of the region's architecture. The scene is serene and picturesque, with snow-covered trees and paths winding through the village.

SANSHIN GROUP  
Monthly Report on the ESG  
Jan.2025

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

# TOP MESSAGE

トンネルを抜けると雪国ではなくなる日も近いのではないかと、思うほど暖冬の年が増えている中、今年の新潟県は例年より積雪が多い状態が続いており、新潟の冬の景観が存分に楽しめる状況だ。観光の中心であるスキー場も、今のところ雪不足で営業がままならないという状況は聞こえてこない。

しかし、冬の新潟県の観光産業は大きく変化している。新潟県の調べによると、県内のスキー場利用者は、1992年度の1597万人から、2023年度は373万人に減少し、スキー場自体も、82か所から54か所に減少しているという。暖冬の影響で、気温が高くなり雪が降る頻度の減少により、スキー場では十分な積雪が確保できないことに加え、スキー人口の減少により、営業開始が遅れる、あるいは規模を縮小、最悪は閉鎖するケースが増えている。閉鎖した跡地は、そのままになっているケースが多く、人のいないスキー場は寂しい感じがする。

新潟県では、冬の観光の多様化を目指し、小雪でも楽しめるアクティビティや体験型観光を取り入れるなど様々な取り組みを行っている。暖冬による環境の変化は、地域ビジネスだけでなく、白一色だった新潟独特の冬の景観を徐々に変えていっている。

新光株式会社  
今井 利明

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

今年は大阪で万博が開催されます。2025年はSDGsの目標年である2030年の5年前であり、各国はSDGsの達成に向けたこれまでの進捗状況と、その達成に向けた取り組みをアピールする機会となります（※パビリオンの出展者はSDGsの17の目標から必ず1つは展示に盛り込み、どの目標と結びついているのかを明示しなくてはなりません）。今回の万博はSDGsを2030年までに達成するためのプラットフォームとしての役割を担うものとなっています。（Y.Y.）

## SANSHIN Hong Kong

不要な電灯の消灯、モニターの電源をこまめにオフにするなど、オフィス環境のエネルギー消費を見直ししたいと思います。小さな取り組みの積み重ねが、長期的にはエネルギー節約とコスト削減につながると思います。（A.W.）

## CSI

1月19日（日曜日）。500年以上の歴史を持つ伝統的なキリスト教のお祭り「シヌログ」がセブ島で行われました。フィリピンでは他の地域でも、キリスト教のお祭りはありますが、その中でもシヌログ祭りは特に有名で、マニラなどフィリピン各地からシヌログ祭りのためにセブ島にきます。教会の守護聖人サントニーニョ（幼きイエスキリスト像）を讃えるお祭りです。（K.S.）

## SANSHINWest

新年おめでとうございます。日本ではお正月におせち料理を食べる習慣があり、店が閉まり食材の入手が難しいことやゆっくり過ごすためなど様々な理由で日持ちする料理がおせち料理として選ばれています。日持ちする分、フードロスにも繋がる可能性があります。日常的にも食べ残しを減らすよう意識していきたいです。（Y.A.）

## SHINKOWA

新しい年を迎え、今年は自然災害の無き年になってほしいこと、また、皆が今生活できている環境に感謝し、一人一人が小さいことでも環境に対してこれからも現状維持させていく事ができるよう考え行動できればと思っています。まずは公共交通機関をできるだけ活用、ムダのない電気の使い方を実施します。（M.N.）

## SC2

【光射す】太陽光発電は様々な問題を抱えています。2030年代後半にはパネルの大量廃棄も予想されますが、そこに光が射しました。パネルを高温の水蒸気で分解し、CO2を出さずにガラスや銅線などの素材を高純度で取り出せる装置が開発されました。もう、将来のパネル処理に頭を悩ませることがなくなりそうですね。（M.I.）

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

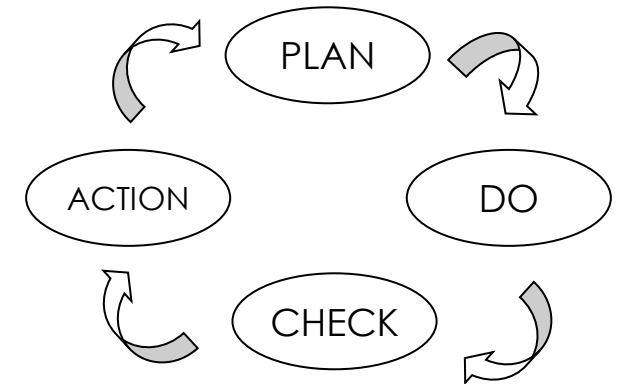
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

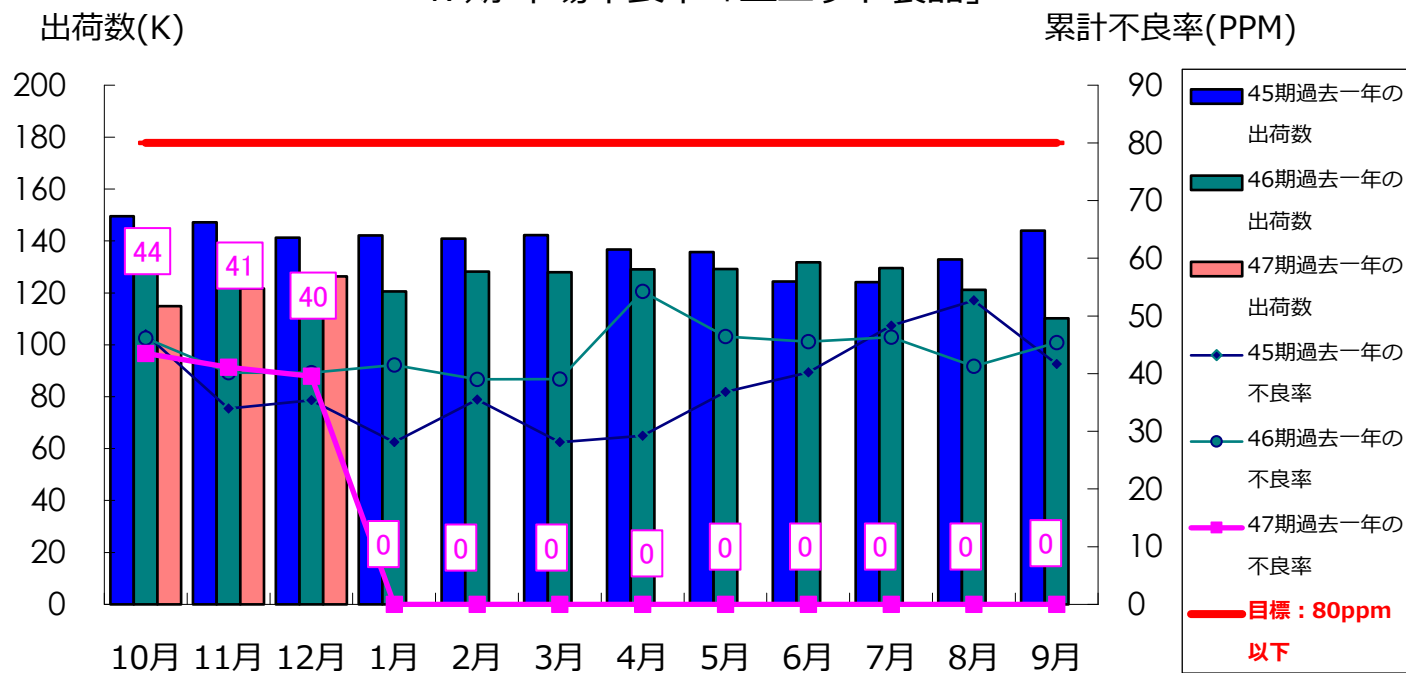
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

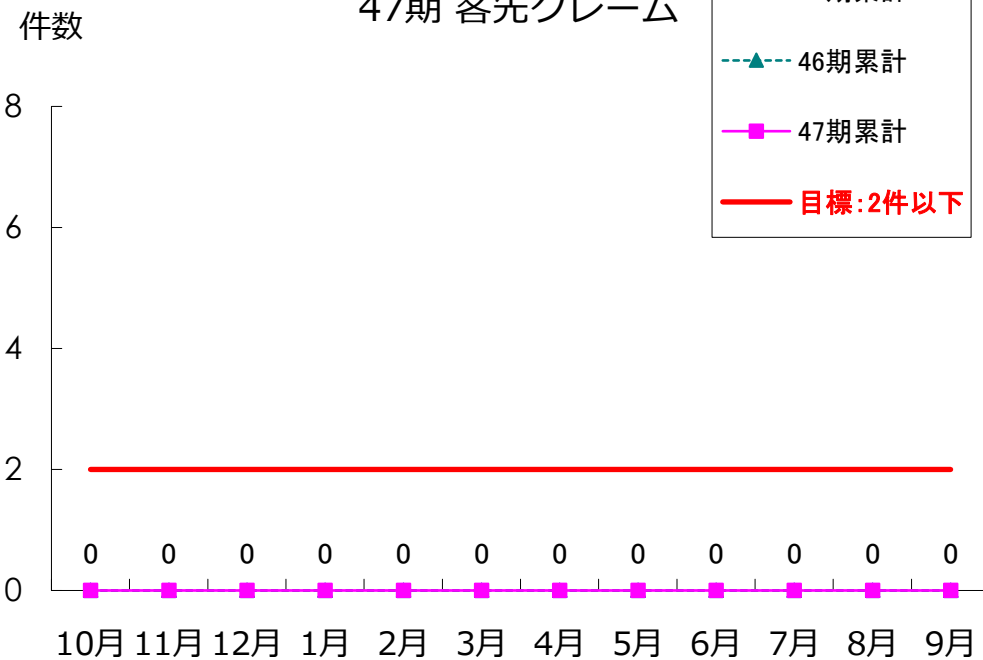
納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
47期の累計不良率(解析依頼含む) : 40ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

### 47期 市場不良率「ユニット製品」



### 47期 客先クレーム





# ESG Report (環境)

# TOPICS

## □ SDGs達成度ランキング】日本、2024年は世界18位に上昇 気候変動対策など最低評価

国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」(SDSN)は6月17日、世界各国のSDGsの達成度を評価した「Sustainable Development Report」(サステナブル・ディベロップメント・レポート、持続可能な開発報告書)の2024年版を発表しました。日本のSDGs達成度は167カ国中18位で、過去最低順位だった前年(166カ国中21位)から3ランク上がりましたが、17の目標のうちジェンダー平等や気候変動対策など五つの目標が前年に続いて「最低評価」となりました。

## ☑ 1位は4年連続でフィンランド、上位は欧州諸国

2024年版のランキング1位はフィンランド(86.4)で、前年(86.8)からスコアを下げたものの4年連続のトップ。2位はスウェーデン(85.7)、3位はデンマーク(85.0)、4位はドイツ(83.4)、5位はフランス(82.8)と続き、4位のドイツまでは前年と同じ顔ぶれとなりました。24位のオランダ(79.2)までは、18位の日本(79.9)を除いて欧州の国々が占め、前年からの順位とスコアの変動は小幅です。米国は46位(74.4)、中国は68位(70.9)という結果になりました。

1	フィンランド	86.4	(1、86.8)	11	スロベニア	81.3	(13、81.0)	33	韓国	77.3	(31、78.1)
2	スウェーデン	85.7	(2、86.0)	12	チェコ	81.3	(8、81.9)	46	米国	74.4	(39、75.9)
3	デンマーク	85.0	(3、85.7)	13	ラトビア	81.0	(14、80.7)	56	ロシア	73.1	(49、73.8)
4	ドイツ	83.4	(4、83.4)	14	スペイン	80.7	(16、80.4)	68	中国	70.9	(63、72.0)
5	フランス	82.8	(6、82.0)	15	エストニア	80.5	(10、81.7)	109	インド	64.0	(112、63.4)
6	オーストリア	82.5	(5、82.3)	16	ポルトガル	80.2	(18、80.0)	165	チャド	45.1	(164、45.3)
7	ノルウェー	82.2	(7、82.0)	17	ベルギー	80.0	(19、79.5)	166	中央アフリカ	44.2	(165、40.4)
8	クロアチア	82.2	(12、81.5)	18	日本	79.9	(21、79.4)	167	南スーダン	40.1	(166=最下位、38.7)
9	英国	82.2	(11、81.7)	19	アイスランド	79.5	(29、78.3)				
10	ポーランド	81.7	(9、81.8)	20	ハンガリー	79.5	(22、79.4)				

※上位国と主な国のSDGs達成度 ( )内は前年の順位とスコア

# TOPICS

## ☑ 日本は7年ぶりに順位上昇、5目標が依然最低評価

日本のSDGs達成度ランキングは、2017年の11位をピークにじりじりと下がり、2023年は21位で初めて20位台に転落しましたが、2024年は7年ぶりに上昇に転じました。

報告書では、各国の取り組みの進み具合を17の目標ごとに「達成済み」「課題が残る」「重要な課題がある」「深刻な課題がある」の4段階で評価しています。日本は2024年版では、「達成済み」が一つ、「課題が残る」が五つ、「重要な課題がある」が六つ、「深刻な課題がある」が五つでした。

【達成済み】（SDG achieved） = 一つ

- ・目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

【課題が残る】（Challenges remain） = 五つ

- ・目標1「貧困をなくそう」
- ・目標3「すべての人に健康と福祉を」
- ・目標4「質の高い教育をみんなに」
- ・目標6「安全な水とトイレを世界中に」
- ・目標16「平和と公正をすべての人に」

【重要な課題がある】（Significant challenges） = 六つ

- ・目標2「飢餓をゼロに」
- ・目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」
- ・目標8「働きがいも経済成長も」
- ・目標10「人や国の不平等をなくそう」
- ・目標11「住み続けられるまちづくりを」
- ・目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

【深刻な課題がある】（Major challenges） = 五つ

- ・目標5「ジェンダー平等を実現しよう」
- ・目標12「つくる責任、つかう責任」
- ・目標13「気候変動に具体的な対策を」
- ・目標14「海の豊かさを守ろう」
- ・目標15「陸の豊かさも守ろう」

最低評価である「深刻な課題がある」とされた目標の数は、昨年と同じ五つ。

# TOPICS

## JAPAN

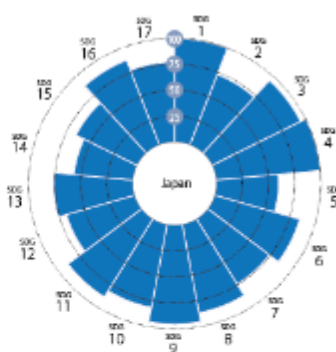
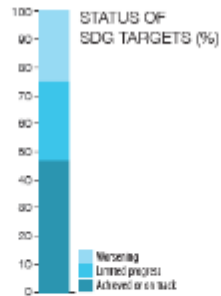
### OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING **18** /167

COUNTRY SCORE **79.9**  
REGIONAL AVERAGE: 77.2

### OECD Countries

### AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



### SDG DASHBOARDS AND TRENDS



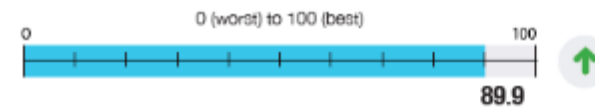
■ Major challenges ■ Significant challenges ■ Challenges remain ■ SDG achieved ■ Information unavailable  
↓ Decreasing → Stagnating ↗ Moderately improving ↑ On track or maintaining SDG achievement ● Information unavailable

Note: The full title of each SDG is available here: <https://sdgs.un.org>

### INTERNATIONAL SPILLOVER INDEX



### STATISTICAL PERFORMANCE INDEX



### MISSING DATA IN SDG INDEX

3%

# TOPICS

- ・目標5「ジェンダー平等を実現しよう」は、国会議員（衆院議員）の女性比率の低さと男女の賃金格差が引き続き問題だとされました。
- ・目標12「つくる責任、つかう責任」は、プラスチックごみの輸出量の多さが前年に続いて問題視されています。
- ・目標13「気候変動に具体的な対策を」は、化石燃料の燃焼やセメント製造にともなう二酸化炭素（CO2）排出量などが多く、低評価となりました。
- ・目標14「海の豊かさを守ろう」
- ・目標15「陸の豊かさを守ろう」も、大きな改善はみられていません。

前年と比べて評価が下がった目標は二つ。

- ・目標4「質の高い教育をみんなに」は、前年まで最高評価の「達成済み」でしたが、PISA（Programme for International Student Assessment：生徒の学習到達度調査）の調査結果について、「生徒の社会経済的背景が数学の得点に影響する度合い」に課題が残るとされたことが影響し、2段階目の「課題が残る」になりました。
- ・目標11「住み続けられるまちづくりを」は、2段階目の「課題が残る」から3段階目の「重要な課題がある」に転落。「家賃負担が重い人々の割合」が増えたことが響きました。

SDG5 – Gender Equality			
Demand for family planning satisfied by modern methods (% of females aged 15 to 49)	* 69.1	2024	● →
Ratio of female-to-male mean years of education received (%)	94.9	2022	● →
Ratio of female-to-male labor force participation rate (%)	76.7	2023	● ↑
Seats held by women in national parliament (%)	10.3	2024	● →
Gender wage gap (% of male median wage)	21.3	2022	● →
SDG12 – Responsible Consumption and Production			
Electronic waste (kg/capita)	20.4	2019	● ●
Production-based air pollution (DALYs per 1,000 population)	3.6	2024	● →
Air pollution associated with imports (DALYs per 1,000 population)	6.6	2024	● →
Production-based nitrogen emissions (kg/capita)	14.3	2024	● ↑
Nitrogen emissions associated with imports (kg/capita)	21.9	2024	● →
Exports of plastic waste (kg/capita)	5.8	2022	● ↑
Non-recycled municipal solid waste (kg/capita/day)	0.7	2021	● ↑
SDG13 – Climate Action			
CO <sub>2</sub> emissions from fossil fuel combustion and cement production (tCO <sub>2</sub> /capita)	8.5	2022	● →
GHG emissions embodied in imports (tCO <sub>2</sub> /capita)	5.1	2021	● →
CO <sub>2</sub> emissions embodied in fossil fuel exports (kg/capita)	0.3	2022	● ●
Carbon Pricing score at EUR60/tCO <sub>2</sub> (% , worst 0–100 best)	22.9	2021	● →
SDG14 – Life Below Water			
Mean area that is protected in marine sites important to biodiversity (%)	66.5	2023	● →
Ocean Health Index: Clean Waters score (worst 0–100 best)	68.7	2023	● →
Fish caught from overexploited or collapsed stocks (% of total catch)	60.9	2018	● ↓
Fish caught by trawling or dredging (%)	19.6	2019	● →
Fish caught that are then discarded (%)	9.2	2019	● ↑
Marine biodiversity threats embodied in imports (per million population)	1.0	2018	● ●
SDG15 – Life on Land			
Mean area that is protected in terrestrial sites important to biodiversity (%)	65.1	2023	● →
Mean area that is protected in freshwater sites important to biodiversity (%)	63.5	2023	● →
Red List Index of species survival (worst 0–1 best)	0.75	2024	● ↓
Permanent deforestation (% of forest area, 3-year average)	0.0	2022	● →
Imported deforestation (m <sup>2</sup> /capita)	19.9	2022	● →

# TOPICS

☑ 2030年に達成可能なターゲット、わずか16%

報告書は、世界全体のSDGsの進捗について、こう述べています。

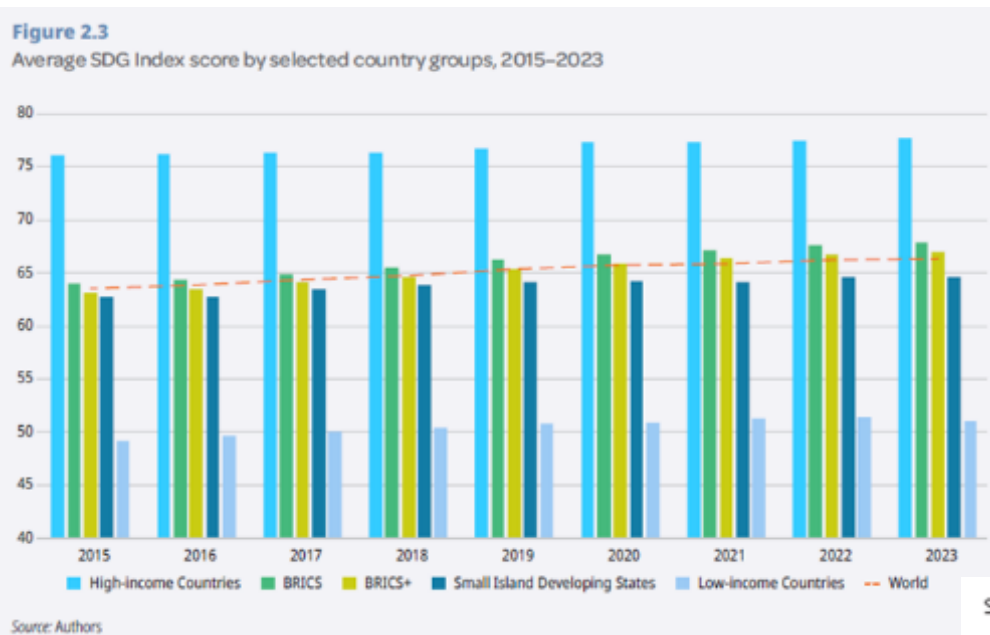
「SDGsのターゲット（17目標の下にある169の小目標）のうち、2030年までに達成できそうなものはわずか16%しかなく、残りの84%は進捗が限定的か、後退している。世界レベルでは、SDGsの進捗は2020年以降停滞しており、特に目標2（飢餓をゼロに）、11（住み続けられるまちづくりを）、14（海の豊かさを守ろう）、15（陸の豊かさを守ろう）、16（平和と公正をすべての人に）は、達成への軌道から外れている」



# TOPICS

SDGsの進捗は国のグループによって異なり、世界平均と、最貧国や最も脆弱な国々の格差は、2015年から拡大しているとも指摘。低所得国の持続可能な開発のためには大規模な資金調達が必要だとしています。

さらに、報告書では「特に軌道から外れている」分野として、食料・土地システムを挙げました。2030年時点でも世界で6億人が飢餓に苦しむと予測されている一方で、肥満は増加し、農林業などからの温室効果ガス排出量が全体の約4分の1を占めているとしたうえで、動物性たんぱく質の消費抑制や、森林破壊を食い止めるための監視システムの導入といった対策が必要だと指摘しています。



# サンシングループ環境経営への歩み

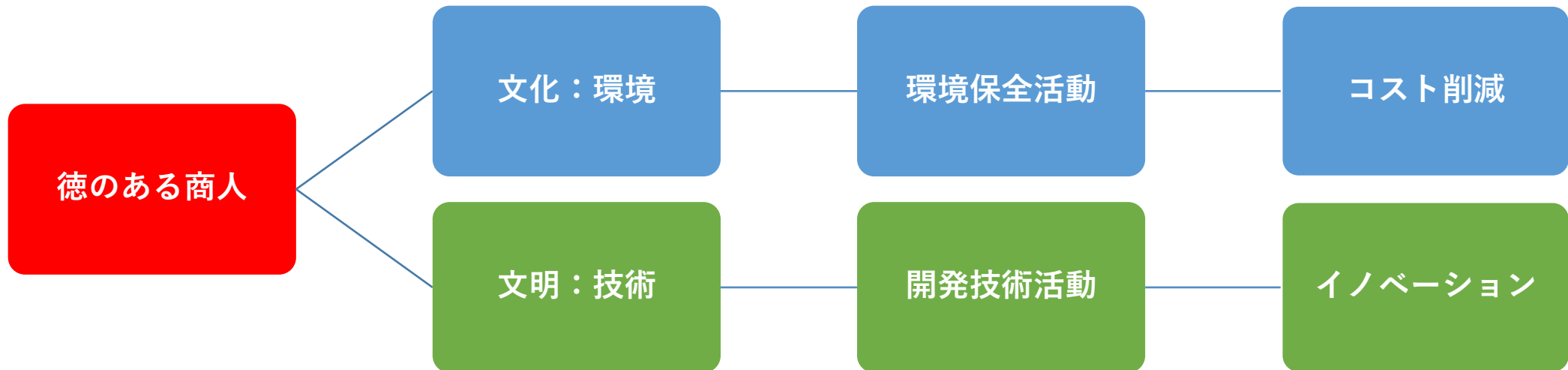


# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

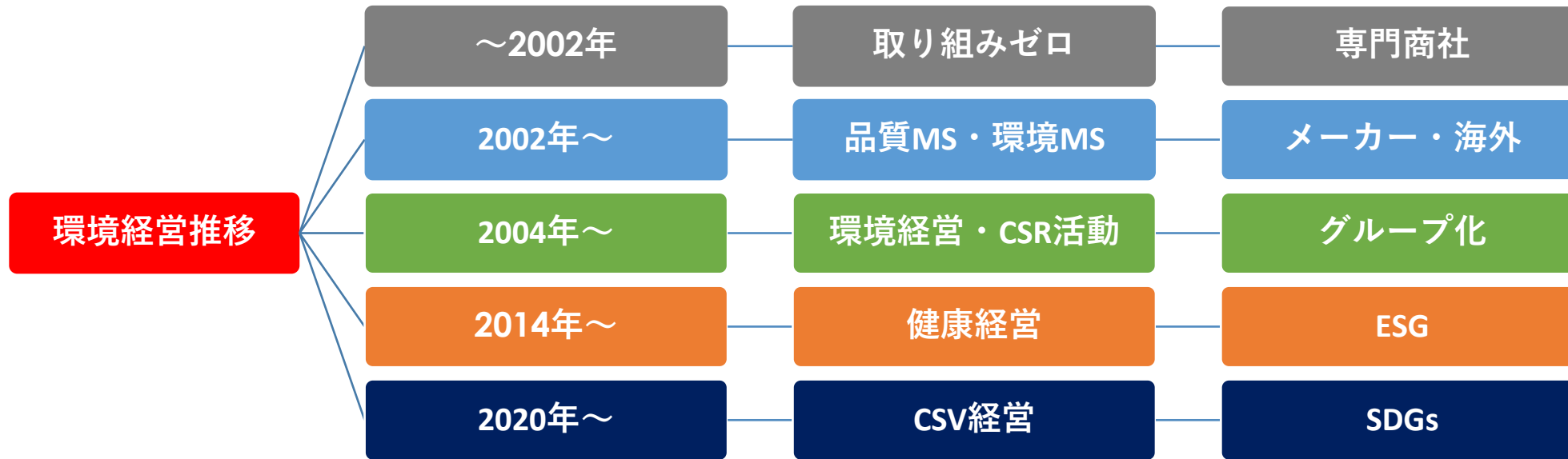
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

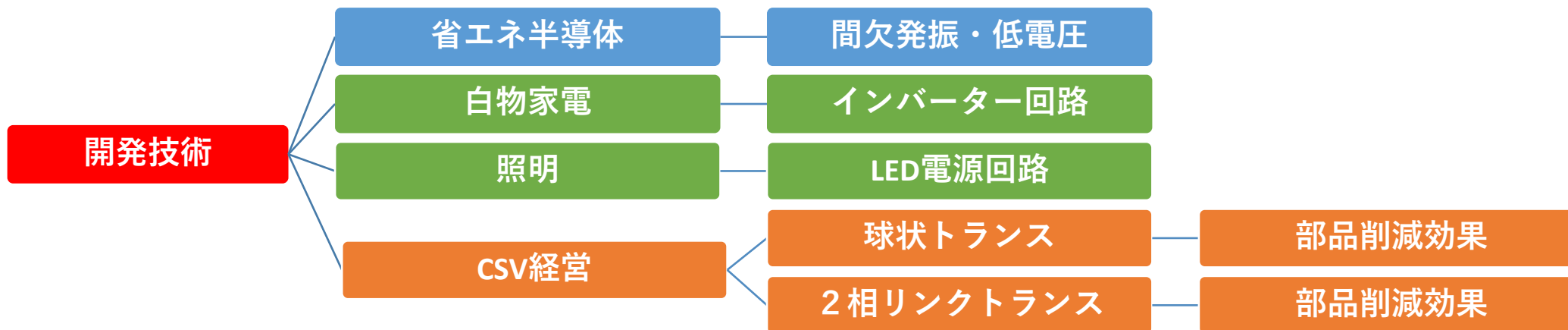
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！





# 活動報告

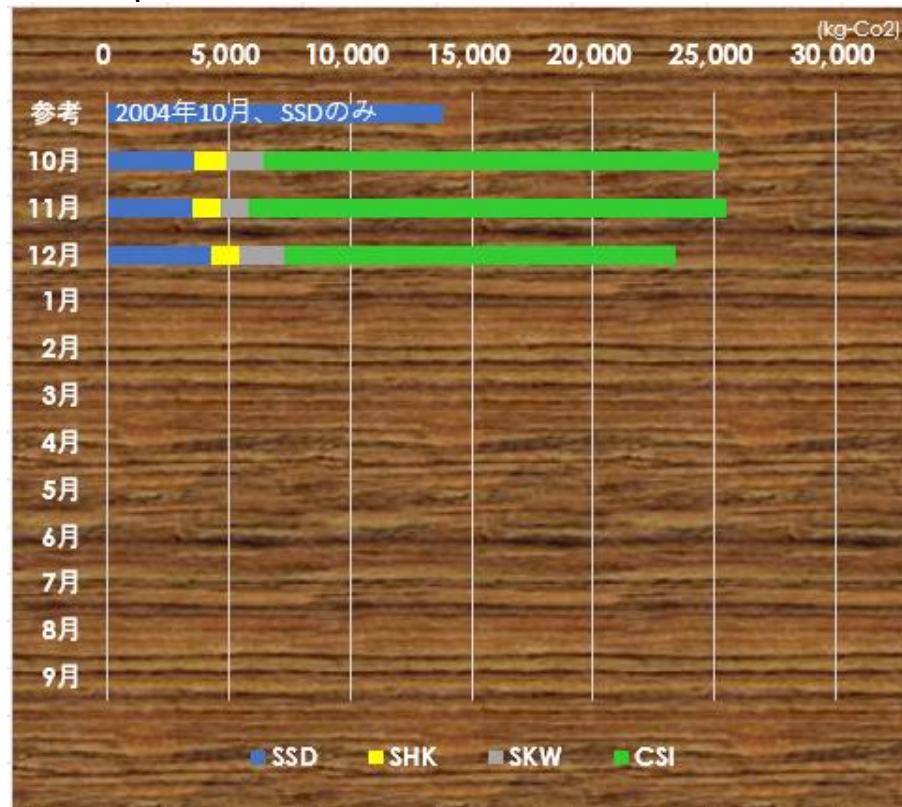
- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

# SSGサプライチェーン排出量

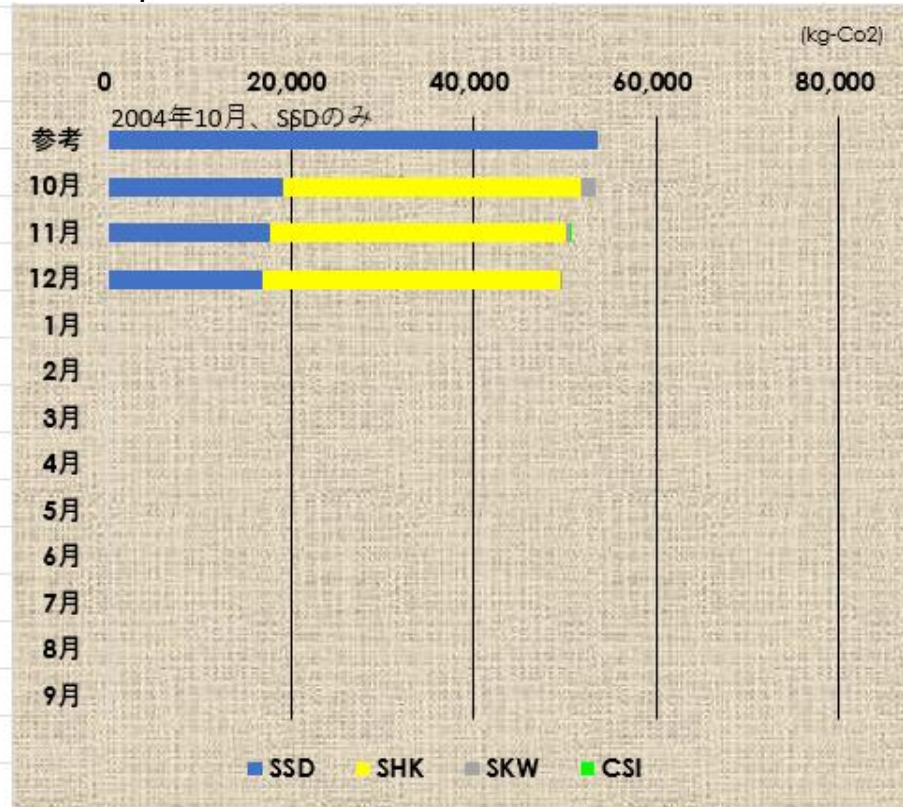
サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

■ Scope 1：該当なし

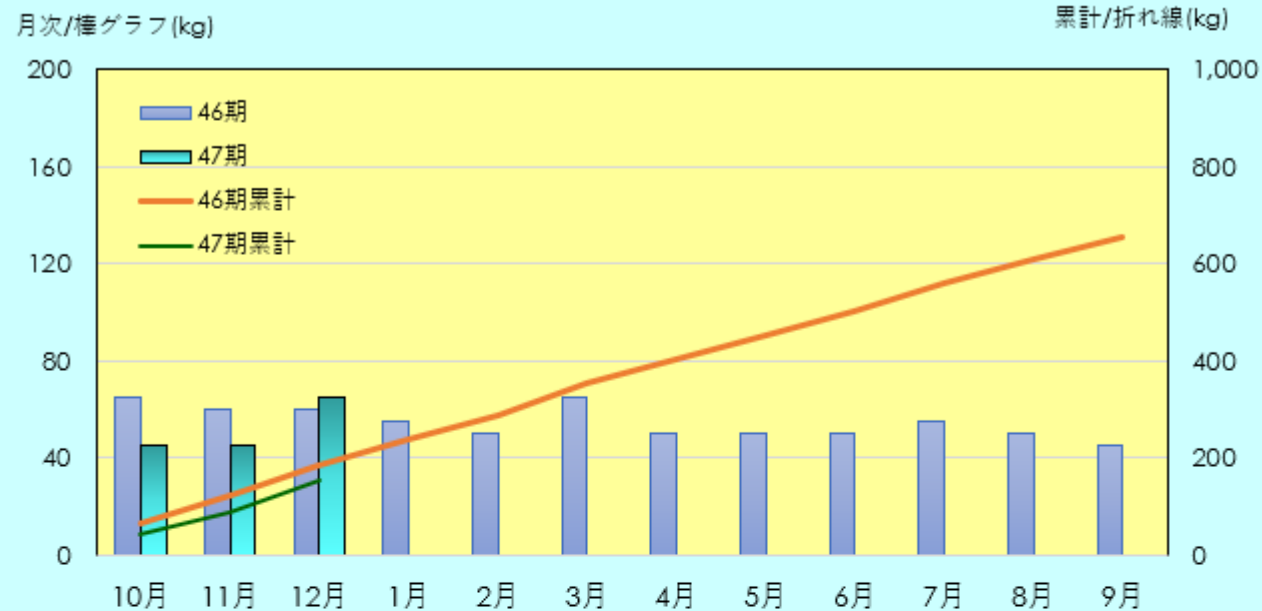
■ Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



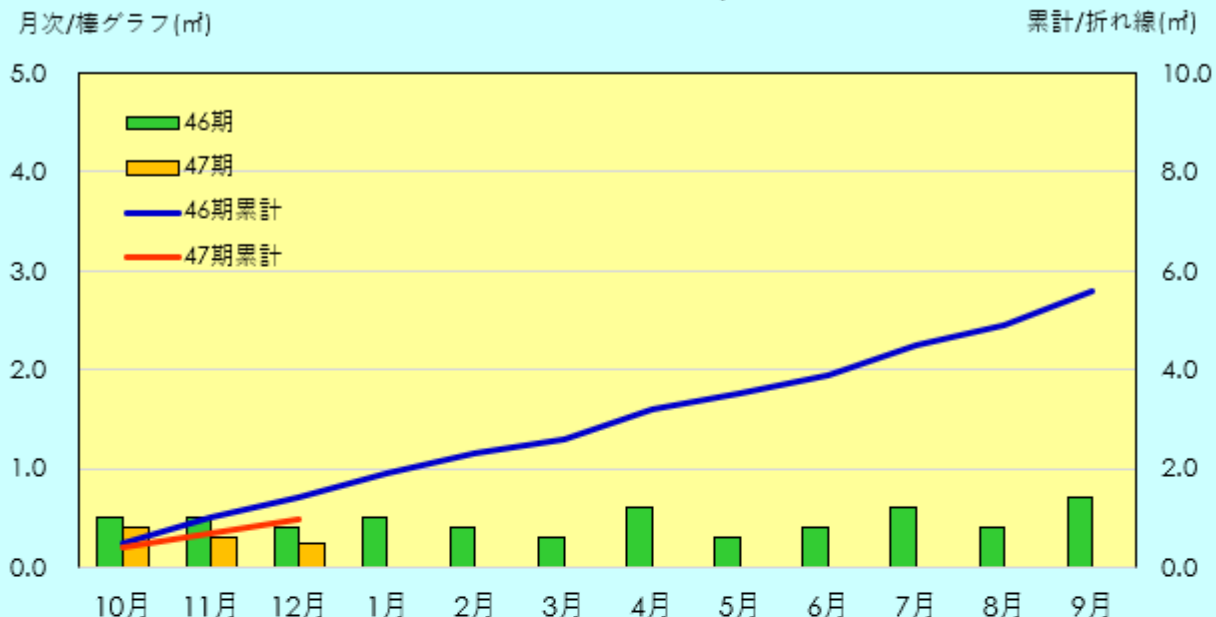
■ Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



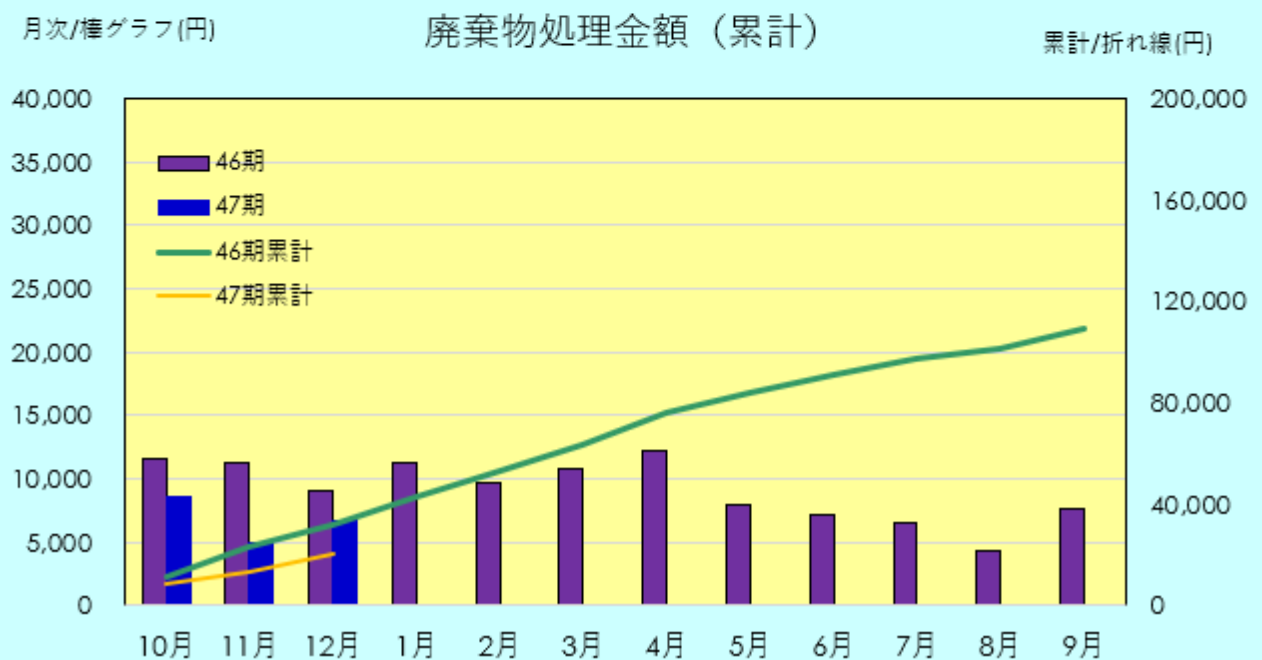
### 一般廃棄物 (SSD/本社)



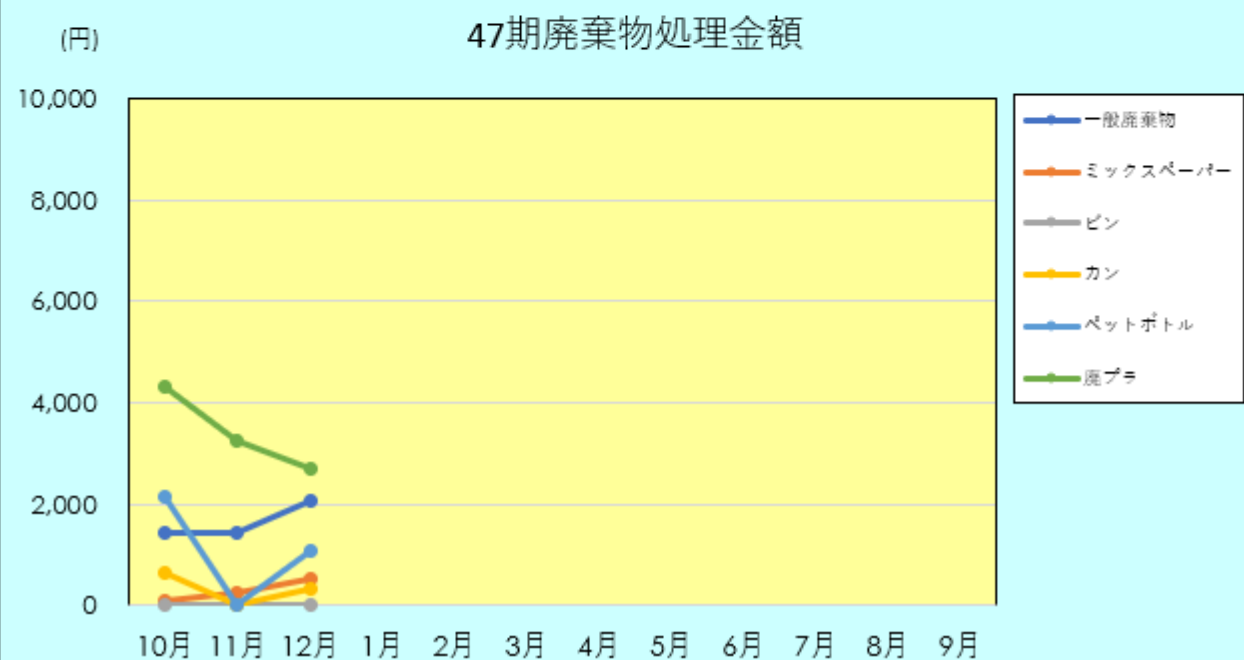
### 一般産業廃棄物 (SSD/本社)



### 廃棄物処理金額 (累計)



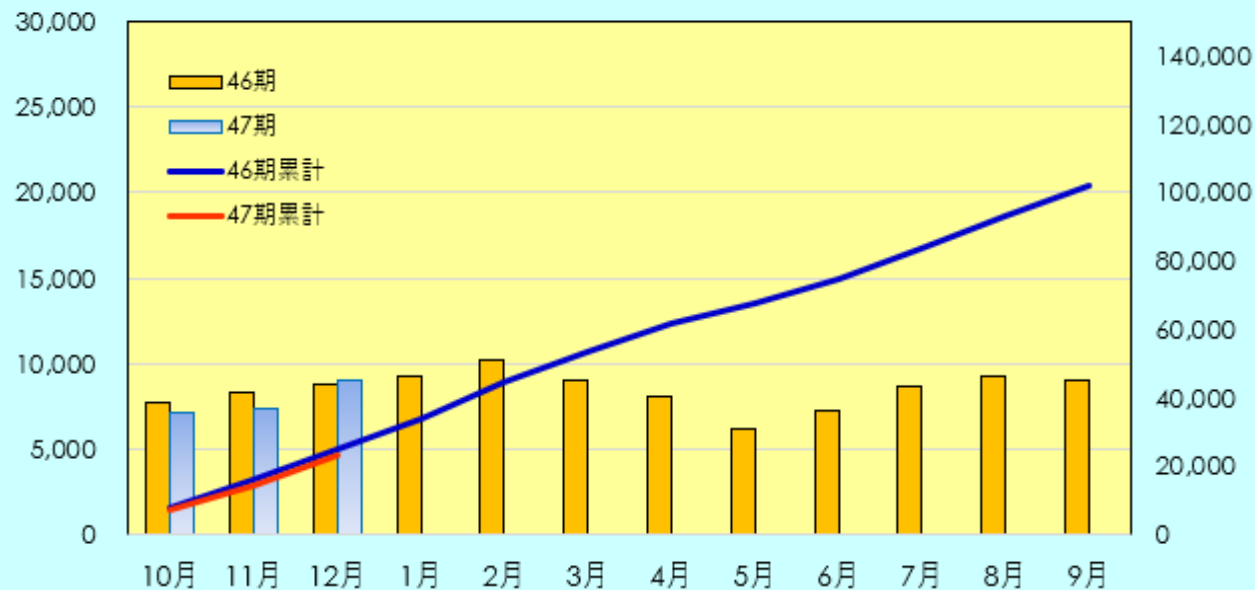
### 47期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

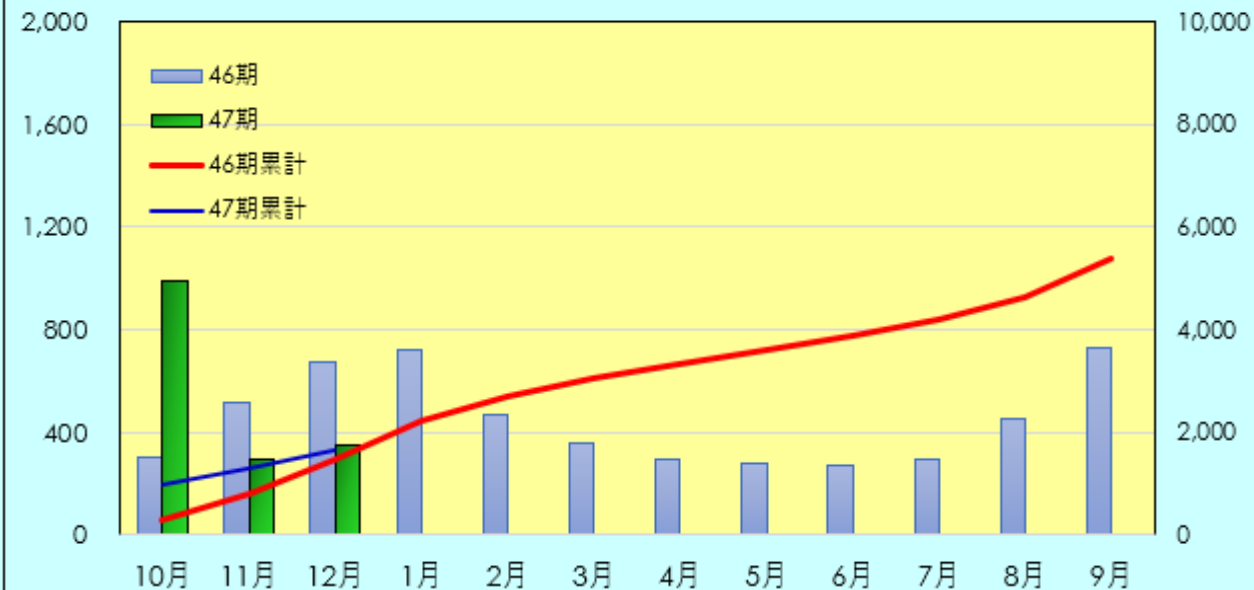
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

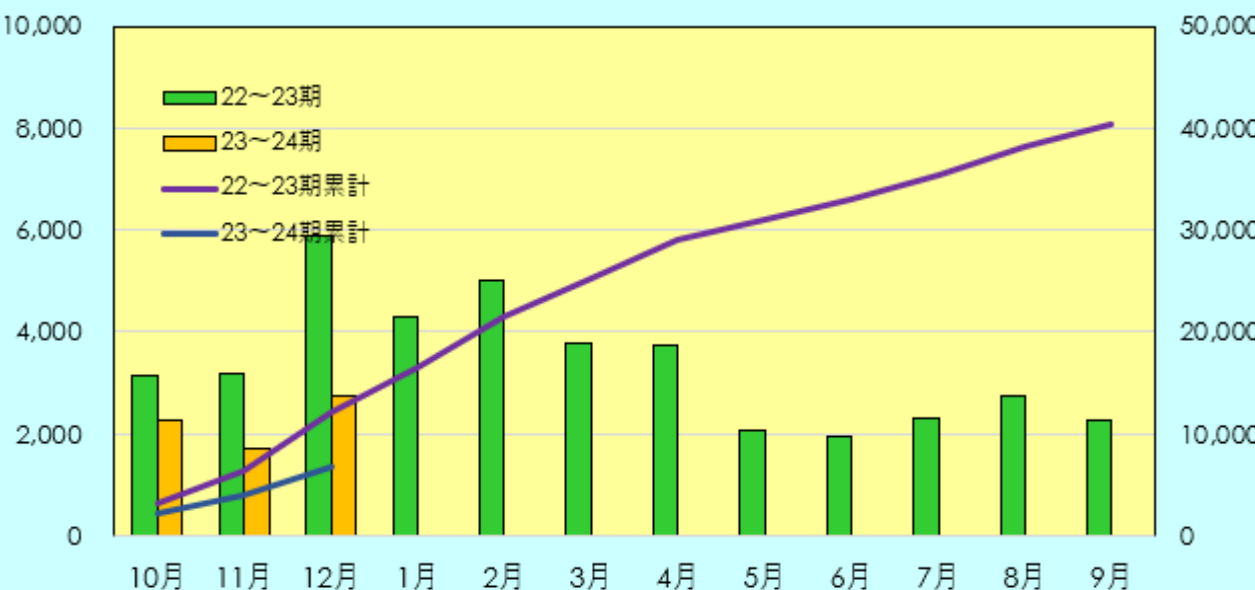
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

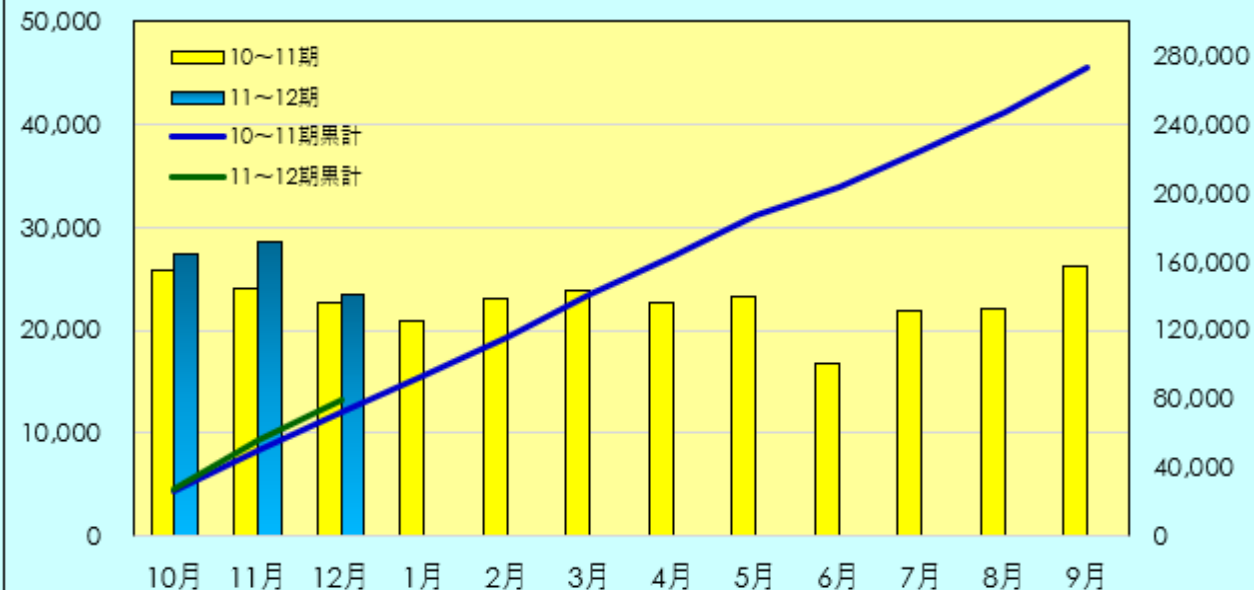
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

### ●会社ロゴの貼替を実施しました！

サンシングループのロゴ変更に伴い、サンシン電気（株）本社の屋外看板等のロゴ張替を実施致しました。エントランスに掲示しているサンシングループ沿革もリニューアルいたしましたので、ご来社の際はぜひご注目ください！



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）



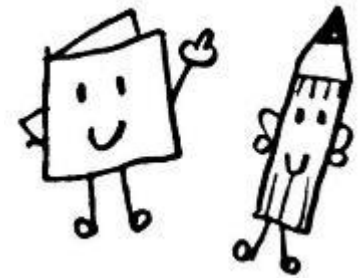


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2024年5月更新）⇒8年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



PDCA→P' サイクルの概念

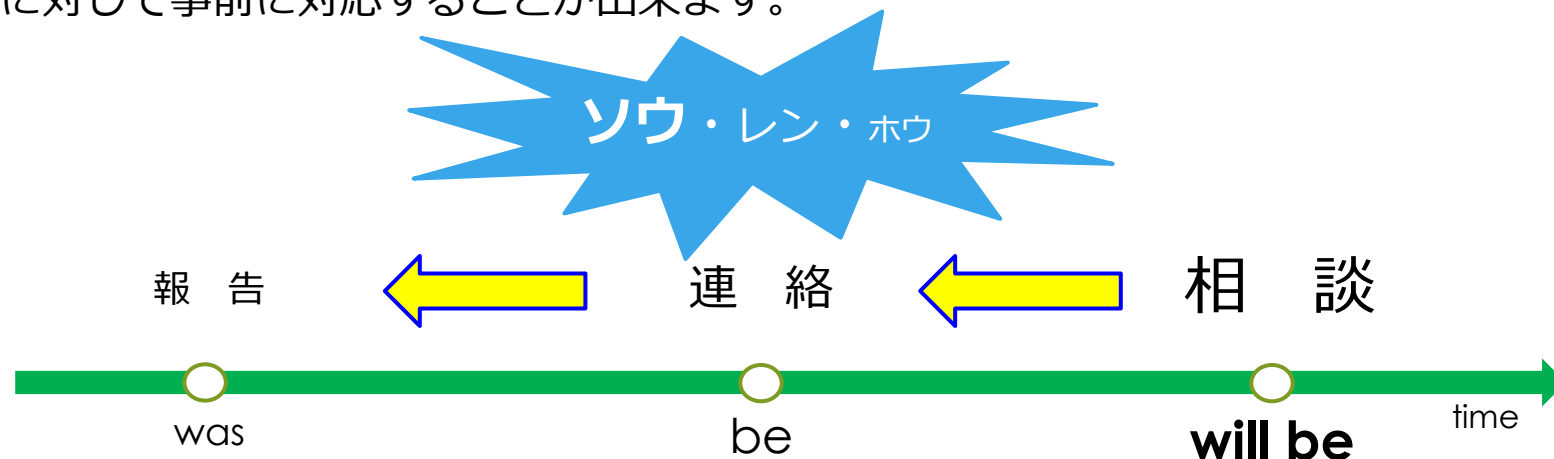


出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。



# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

2025年最初のESGレポートとなりました。今年も宜しくお願い致します。昨年は羽田での事故、今年には濟州空港での墜落事故と、飛行機事故が発生しました。航空会社安全評価や事故が発生した際の対応など、あらかじめ情報収集しておきましょう。飛行機事故に限らず、事前準備をしておけば、事故発生時にも冷静に行動できると思います。